

日本共産党 橋詰 圭一 議員

鈴鹿市の雨水対策について

**(質問)** 記録的豪雨が日本列島各地に被害をもたらしている。本市での過去の豪雨災害について、検証と対策は十分か。金沢川上流での治水対策が進み流量が増加するが、下流域での治水対策は十分か。白子駅周辺の浸水対策は「鈴鹿市総合雨水対策基本計画」で具体的に示されるのか。

**(答弁)** 今年度中に策定する「鈴鹿市総合雨水対策基本計画」で今後の治水・浸水対策の方針と計画を示し、近年の最大雨量を用いて効果を検証する。金沢川下流域は浸水被害の影響は小さいと考えられるが、土砂の堆積や雑木の繁茂が顕著であり、河川整備の促進を三重県に強く要望していく。白子駅周辺の浸水対策は、重要度、緊急性が高く、早急に検討すべき重点地区と位置づけ対策案の検討をしていく。

その他の質問 ○乳幼児の発達とメディアの弊害について

日本共産党 石田 秀三 議員

市営プールについて

**(質問)** 石垣池公園市営プールは、1982年のオープン以来36年が経過し、あちこちで老朽化による破損や劣化が進んでいる。プールサイドのタイルが剥がれ、幼児用プールにある滑り台の階段はさびて、更衣室の床の樹脂性すのこは大部分が割れており、応急処置された状態となっている。循環ろ過装置も機能

が低下しており、オーバーホールが必要である。

**(答弁)** 次年度の開業に向け、利用者の安全を最優先に考え必要な修繕を実施する。ろ過装置の点検・修繕は早い時期に実施し、開業に支障のないようにしたい。

石垣池公園市営プール



その他の質問 ○国民健康保険について

日本共産党 森川 ヤスエ 議員

療育センターについて

**(質問)** 市療育センターは児童発達支援センターとしての役割を持つことから、設置当初の目的を超えて多種多様な対応を行うため、利用者、職員もおおのずと増えることになる。職員室は椅子に座ると、背中が壁いっぱい机の引き出しが開かない。療育や訓練室不足、手すりのついた廊下は机や訓練マット・滑り

台などの訓練用具置き場という状況で、手狭が著しい療育センターの改善は早急に行うべきである。老朽化している社会福祉センターと複合施設にした建て替えも視野に入れた改善の検討をしてはどうか。

**(答弁)** 手狭を認識しているため、廃園になった牧田幼稚園を(仮称)第2療育センターとして改修することを考えている。



その他の質問 ○青年学級への支援について

自由民主党 鈴木市議団 山中 智博 議員

行財政改革について

**(質問)** 「働く人の幸せこそが組織に繁栄をもたらす」との考え方は世界的な潮流で、働きがいのある会社はそうでない会社よりも業績が向上している。自治体間でも人材獲得競争が激化する現在、働きがいのある市役所であれば優秀な人材は鈴鹿市を離れ、行政サービスの停滞につながる。人事、予算、行

政評価の改革など、職員が成果を上げ満足度が向上するための環境整備が必要ではないか。

**(答弁)** 市職員のやりたい仕事とは、市民の方が住んで良かったと実感できるまちづくりの推進で、働きがいは、市民生活が豊かで安心なものとなった時に実感できるものとする。市民満足度を高める上では、施策を実施する職員自身の満足度の向上が不可欠。めざす職員像にある“挑戦者であり続ける人材”となるために、人事評価の精度向上、常に改善する風土の醸成、効率的な行政経営に取り組む。